

<解説>

中核事業の継続のために不可欠な外部から調達する原材料、部品、サービスなどの供給の確保について確認します。同時に、万が一供給元からの供給がストップしてしまった場合の代替調達先の有無についても確認しておきます。

番号	重要度	チェック内容	チェック
「モノ＝原材料」に関する対応策			
■	目標復旧時間内での継続・復旧のための被害軽減策		
6 - (14)	必須	自社内での事業の継続・復旧に向けた原材料の被害を軽減するための対策を行なっている	
	(関連)	緊急時を想定した必要な在庫量を計算し、保有している	
	(関連)	在庫の崩落により使用できなくなるなどがないように、保管方法を工夫している	
	(関連)	その他、原材料に関する被害の軽減策を行なっている	

<解説>

被害軽減策として、在庫量の検討や、保管方法の工夫が考えられます。特に保管や収納方法の検討は重要な検討課題になるケースが多く見られます。

(視点)
<p>原材料や部品の被害軽減策のために在庫のあり方を見直すことが必要になる場合があります。原材料が滞留したり不良在庫にならないようにするために、これまではその圧縮に努めてきた企業も多いことと思われます。しかしながら東日本大震災後は、(特に災害時を想定した)適正在庫を把握し、その保有に積極的になっている企業が増えてきていることは注目すべき点です。BCP策定の目的や基本方針に立ち戻って、事業継続の視点から再検討することも必要になるのではないのでしょうか。</p>

また、軽減策の検討が難しい「サービス」については、次の代替による対応策においてその対策を考えます。

番号	重要度	チェック内容	チェック
「モノ＝原材料」に関する対応策			
■	目標復旧時間内での代替による継続・復旧のための対応策		
6 - (15)	必須	目標復旧時間内での原材料の代替での継続・復旧のための対策の検討・決定を行なっている	
	(関連)	中核事業の継続に必要な原材料について、代替調達先を把握している	
	(関連)	緊急時の調達の実現のため、代替調達先との調整や連携を行なっている	